

未来によりよい環境を伝えるために

～環境教育リーダー養成講座開催報告～

美しく自然豊かな本市を次世代に継承していくためには、市民総参加により、一人一人が環境の素晴らしさや大切さを認識し、そして行動していくことが必要です。市では、そういった認識を持ち、行動できる人間を育てていく環境教育の推進に取り組んでいます。

10月1日に、昨年に引き続き2回目となる「環境教育リーダー養成講座～基礎コース～」をオオムラサキセンターで開催し、環境活動に関心のある20代から70代まで幅広い世代の約30人にご参加いただきました。

当日は、環境教育の指導者の養成等に先駆的に取り組んでいる(財)キープ協会の環境教育事業部長 増田直広氏を講師にお招きし、「野外での自然体験型環境プログラム体験」「環境教育概論」「市内をフィールドとした市民が取り組める環境教育のアイデア創出のワークショップ」等を行いました。



プログラム体験の様子



ワークショップの様子

環境教育概論では、増田講師から「環境教育の理念や意義」などの話があり、参加者は真剣に耳を傾け、聞き入っていました。

講義内容の一部をご紹介します。

環境教育とは？

環境保全に関する理解を深め、行動できる人間を育てていく取り組みです。

「人と自然」の関係に加え、「人と社会」や「人と人」のつながりや絆に気づき、理解し、そして学ぶことを後押しするものです。加えて、地域のつながりの再構築や自然や文化、人材という資源の活用など、地域が本来持つ強みを活かした地域活性化等に繋がるものでもあります。

環境教育は環境問題の解決の方法のひとつ！

環境問題の解決の方法として、「規制」「技術革新」「意識改革」の3つに整理できます。この3つのうち、「意識改革」は人々の意識やライフスタイルの変換を促す根本的療法であり、「意識改革」を進めるための教育活動を「環境教育」と呼んでいます。

「環境教育」が育てたい人材とは？

環境教育によって育てたい人間とは、「評論家」ではなく、「実践家」です！

単に知識を得るだけでなく、それを使って自ら考えて、判断し、行動し、成果を導き出すことができる人間です！

講座参加者の声

- いろいろな世代の方々との共同作業を通じて、とても視野が広がった！
- 楽しい雰囲気の中で、遊びを通して体験できた！
- 話を聞くだけでなく、体験型プログラムに実際に参加できわかりやすかった！
- 自らのアイデアを他人と共有できた！

東日本大震災を経て、環境教育の重要性はより一層増えています。市では、引き続き環境教育の推進に取り組むとともに、市民等の環境教育活動の場を充実させていきたいと考えています。

環境問題、新しい日本の未来を一人一人が考え、行動し、みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。

環境課 TEL42-1341 FAX42-1124